

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	メチル水銀毒性発現の分子機構
研究代表者	永沼 章（東北大学・大学院薬学研究科・教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>本研究は、メチル水銀に関する応募者自身の長い研究実績を基礎に、HOXB13 という新しい標的を見だし、メチル水銀による中枢神経に対する毒性発現機序の解明を目指しており、オリジナリティーの高い研究である。従来、慢性炎症などとの関連で注目されてきた TNFα が、神経細胞死に関連しているとの知見も興味深い。マウスがメチル水銀による神経毒性のモデルとして適切であるかについては検討の余地が残るが、総括的に基盤研究（S）にふさわしい質と量を含む提案であると考え、採択すべき課題と判断した。</p>